

## (研究成果報告書)

### 本校の金融教育への取り組み（平成27・28年度）

鳥取市立南中学校

教諭 西川 公一

#### 1 本校の概要

本校は、鳥取県東部、鳥取市の中心市街地（鳥取駅）南部に立地する公立中学校である。「真理・正義・友愛」を校訓とし、仲間づくり・人権教育を大切にした教育方針を基盤とする開校70年を迎える伝統校である。生徒数は692名（平成28年度／普通学級21クラス，特別支援学級4クラス）で、鳥取県内中学校で最多の大規模校である。校区は市街地とその郊外の農村部，新興住宅地が混在する。伝統的に部活動がさかんで，全国大会や中国大会に出場する部も数多くある。

#### 2 実践内容

本校の金融教育は，学習指導要領に基づき，主に技術・家庭科と社会科で行っている。

社会科では公民的分野において，3年生の11～12月の時期に，第4章「私たちの暮らしと経済」1節「消費生活と経済」（配当5時間）の単元で実施している。

以下に，その年間指導計画を掲載する。

#### <社会（公民的分野）年間指導計画（一部）>

##### 1節 消費生活と経済（配当5時間）

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
<ul style="list-style-type: none"><li>● 身近な事例の提示や，シミュレーションなどの活動を通して経済に対する関心を高めさせ，より良い消費生活の在り方や消費者としての自立について考えさせる。</li><li>● 統計資料をはじめとした資料の収集・選択，読み取りを通して経済に親しませ，主体的に課題を設定し追究していこうとする態度を養う。</li><li>● 身近な消費生活の事例を基に，暮らしと経済との関係に気づかせるとともに，その背景にある流通の役割について理解させる。</li><li>● 具体的な事例を基に，消費者の権利の重要性と，消費者を保護し，消費者の自立を支援する消費者行政の意義について理解させる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンビニエンスストアの立地と品ぞろえについて考えるシミュレーションに意欲的に取り組み，経済への関心を深めている。</li><li>● 家計についてのシミュレーションや，広告や消費者問題についての調査などを通して，自分の消費生活を振り返り，自立した消費者を目指そうとしている。</li></ul>
	社会的な思考・判断・表現
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 消費生活や流通に関するさまざまな事例を基に，経済活動における選択や，消費者の権利と自立，流通の役割について多面的・多角的に考え，その過程や結果を適切に表現している。</li><li>● 消費者の権利の実現を妨げる消費者問題について，原因や対応，解決方法などを具体的に考え，議論している。</li></ul>
	資料活用の技能
<ul style="list-style-type: none"><li>● 消費生活に関する課題や消費者問題について，事例や統計資料を収集・選択し，読み取るとともに，その解決策について自分の考えをまとめている。</li><li>● 流通の仕組みや流通の合理化のための取り組みについて，具体的な事例を収集し，図表などにまとめている。</li></ul>	
社会的事象についての知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 身近な消費生活を基に，自分の日常生活と経済との関係に気づくとともに，経済活動の意義について理解している。</li><li>● 消費者の権利と契約，消費者問題，流通の役割について理解し，その知識を身につけている。</li></ul>	

時	主な学習内容	学習目標	評価規準
1	<p>■コンビニエンスストアの経営者になってみよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シミュレーションを通して学習への意欲を高め、経済に興味・関心を持つ。</li> <li>● 経営者の視点から消費者の消費行動について考えることで、生活と経済との関係や、経済活動における限られた資源の選択について気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンビニエンスストアの立地について考えるシミュレーションを通して、経済に対する関心を高めている。(関心・意欲・態度)</li> <li>● コンビニエンスストアの立地について、経営者と消費者の立場から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)</li> </ul>
2	<p>1. 私たちの消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たちの生活と経済活動</li> <li>・ 商品の選択</li> <li>・ 家計の収入と支出</li> <li>・ より良い消費生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商品の生産と消費を通して暮らしを豊かにする仕組みが経済であることを理解する。</li> <li>● 将来の家計の支出を予測し、検討することで、収入と支出のバランスとより良い消費生活の在り方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来の家計の支出の予測や改善について話し合う中で、消費生活を向上させようとする態度が見られる。(関心・意欲・態度)</li> <li>● 消費者は限られた時間と収入を基に商品を選択していることや、家計における収入と支出、貯蓄の関係について理解し、その知識を身につけている。(知識・理解)</li> </ul>
3	<p>2. 契約と消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費者主権</li> <li>・ 消費生活と契約</li> <li>・ 消費者問題の発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広告が消費行動に与えている影響に着目し、消費者主権について関心を持つ。</li> <li>● 身近な事例を通して、消費生活が契約によって成り立っていることに気づき、契約の際に注意すべきことについて考え、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消費生活が契約によって成り立っていることを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)</li> <li>● 消費者問題の概要について理解し、その知識を身につけている。(知識・理解)</li> </ul>
4	<p>3. 消費者の権利を守るために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費者の権利</li> <li>・ 消費者問題への行政の対応</li> <li>・ 自立した消費者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消費者の権利とその保護について、具体的な被害例や対応策などを通して考え、考えたことを表現する。</li> <li>● 身近な消費生活を通して、自立した消費者として権利とともに責任を負っていることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消費者の権利とその保護の取り組みについて、多面的・多角的に考えている。(思考・判断・表現)</li> <li>● 消費者の権利や消費者行政の役割について理解し、その知識を身につけている。(知識・理解)</li> </ul>
57	<p>4. 消費生活を支える流通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商品が手もとに届くまで</li> <li>・ 商業の役割</li> <li>・ 流通の合理化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● さまざまな商品の流通経路に、消費者として関心を持つ。</li> <li>● 流通の仕組みや役割、流通の合理化の取り組みについて調べ、理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な商品の流通経路について、積極的に調べている。(関心・意欲・態度)</li> <li>● 流通の役割や流通の合理化の取り組みについて、生産者と消費者の立場から多面的・多角的に考察している。(思考・判断・表現)</li> </ul>

技術・家庭科（家庭分野）では，2年生の学習課程に位置づけて実施している。

以下に，その年間指導計画と実践指導案を掲載する。

<技術・家庭科（家庭分野）年間指導計画（一部）>

時	単元	ねらい／学習内容／指導上の留意点	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
2	1 家庭生活と消費 生活に必要なものの流れ ①商品購入のプロセス	○生活を支えている物資やサービスは誰がつくり提供しているのか。必要なものを購入する際の購入プロセスを理解し，消費と環境の関連についても理解する。 ・自分の生活を支えているものについてあげる。 ・ものをどのように手に入れているかを考えさせる。 ・よく使うもの，時々使うもの，ほとんど使わない物に分け，自分の消費行動をふり返り，発表させる。 ○自分の消費行動をふり返り，満足し成功した商品，不満で失敗した例を思いおこす。 ・商品を購入する時は，情報を集めること，価格だけではなく，品質，表示やマーク，環境などを検討し選択することを考えさせる。	●消費行動をふり返り，必ずしも必要でないものがあることに気づく。 ●成功した例，失敗した例を思いおこし記入している。		●調べることで自分の消費行動をふり返り，「必要なもの」と「必ずしも必要でないもの」があることに気づく。	●自分の生活をふり返り，物資とサービスの意味がわかる。 ●自立した生活を営むためには労働と生活費（収入）が必要であることがわかり，ものの流れもわかる。 ●生活に必要なものと消費のしくみがわかる。 ●必要な商品を購入するプロセスがわかる。
3	2 商品の選択と購入 ②生活情報の活用 ③商品の価格	○自分の消費行動に関心をもち，表示やマークが商品の選択・購入に役立つことを理解する。同じ商品でも価格が異なる理由を理解する。 ・商品を購入するときどんなことを考えるか，どんな情報がほしいかを考える。 ・自分の買い物の例をふり返る。 ・表示やマークの意味を調べる。 ・同じ商品でも価格が違うのはなぜかを考える。 ・自分だったらどのほうれん草を買うか，その理由を考える。	●買い物をふり返り，成功例や失敗例についてその原因を考えてまとめ，発表している。		●その商品を買う理由を考え，まとめている。	●表示やマークには消費者にとって重要な意味があることがわかる。 ●商品の価格の決め方がわかる。
2	④販売方法と支払い方法	○商品（物資とサービス）の販売方法と支払い方法の特徴を理解する。 ○契約の意味を理解する。	●話し合いに参加し，自分の意見を伝えようと		●販売方法と支払い方法の種類と特徴がわか	●店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売方法の分類と種類を知り特徴を調べる。</li> <li>・店舗販売と無店舗販売(通信販売)の長所と短所について班で話し合い、発表する。</li> <li>・班の意見をまとめて、班別色カードに記入し、発表しながらそれぞれ長所、短所のカードを黒板に貼っていく。</li> <li>・販売方法と支払い方法の分類とその特徴を整理し、まとめる。</li> </ul>	<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●いろいろな商品の販売方法があることに気づく。</li> </ul>		<p>り、場面に応じた選択ができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●支払い方法の種類と特徴がわかり、実生活に基づいた事例がわかる。</li> <li>●販売方法の長所と短所がわかる。</li> <li>●販売方法と支払い方法の種類と特徴がわかり、場面に応じた選択ができる。</li> <li>●契約の意味とルールがあることがわかる。</li> </ul>
3	<p>3よりよい消費生活のために</p> <p>①消費生活のトラブルを防ごう</p>	<p>○消費生活のトラブルについて理解し、その解決方法がわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書p.219の5図や地域の消費生活センターの資料から中学生に多いトラブルの内容を知る。自分の経験をまとめる。</li> <li>・トラブルの事例を通信販売の利用と悪質商法の利用とに分ける。</li> <li>・ロールプレイングを見ながら、悪質商法のキーワードとなる言葉や、業者の言葉に乗せられていく消費者の心理に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な消費生活のトラブルについて関心をもって資料をみている。自分の経験を発表しようとしている。他の発表に関心をもって聞いている。</li> <li>●意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●悪質商法に引っかかってしまう消費者の心理を理解するとともに、トラブルを回避できる能力と方法がわかる。</li> </ul>
2	<p>②消費者の権利と責任</p> <p>③消費者を支えるしくみ</p>	<p>○商品を購入することは、選ぶ権利であるとともに責任も伴うことを理解する。</p> <p>○消費生活センターやクーリング・オフ制度があることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の8つの権利と5つの責任を身近な事例等を通して理解する。</li> <li>・教科書p.223の項目について自分の考えを記入する。</li> </ul> <p>○消費者を支える機関や法律の必要性を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事例をもとに消費者の権利と責任について関心をもって整理している。</li> <li>●事例のトラブルを通して消費者の権利と責任について考えて記入している。</li> </ul>		<p>★クーリング・オフ制度の内容を理解してはがきが書ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消費者としてとった行動が、良い商品を生み出す社会的な行動に繋がったことを理解できる。</li> <li>●消費生活センターの場所やクーリング・オフ制度のはがきの書き方がわかり、トラブルの解決方法がわかる。</li> </ul>

<技術・家庭科（家庭分野）指導事例（学習指導案）>

第2学年 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

授業日 平成27年12月3日  
 場所 鳥取市立南中学校被服室  
 指導者 米澤 靖子

- 1 題材名 よりよい消費者を目指そう（応用題材）  
 2 題材について

(1) 題材観

消費社会の進展に伴い、中学生は様々な物資やサービスに囲まれている。店舗販売だけでなく、様々な販売方法、支払い方法がある中、自分で選択し利用していかなければならない。特にインターネットや携帯電話などの情報通信サービスが身近に存在する中、自分自身で購入するかしないかの決断を迫られる場面が今後ますます増加する。しかし、生活に必要なものとは何か、それらはどこから来て、どのように手元に届き、どのくらい使うのか考えている生徒は少なく、消費生活において受身になりがちである。一方、購入する場合に被害にあうことも少なくない。生徒自身が問題解決のプロセスを学び、既存の知識や技術を活用して自らの消費生活の課題に主体的に取り組む態度の育成が必要である。また、商品の購入は、選ぶ権利であるとともに、責任を担うことであるということも理解する必要がある。さらに、批判的な意識や社会的関心を持っている消費者の意識や行動が、やがて企業の商品開発や販売方法の改善につながり、持続可能な社会を目指した消費生活を担っていることを考えさせる機会としたい。

(2) 生徒観

消費生活においては、「一人で商品を購入する機会があるか」という問いに対して85%以上の生徒がよくある・たまにあると答えている。また、「商品を購入したとき、失敗した経験はあるか」という問いに対して、35%以上の生徒が失敗した経験があると答えている。また、「環境への配慮をしている」と答える生徒は「たまに気をつけている」という生徒を含め75%と多く、環境への意識は高く、消費生活についての関心も高いと考える。また、「技術・家庭科は将来役に立つ」と答える生徒は99%と高く。そこで、生徒が主体となった体験型の問題解決学習を設定することで消費生活に興味を持ち、さらに自らの課題として捉えることができると考える。

(3) 指導観

消費生活に受身になりがちな中学生が、自分のこととして考え、自分の行為が社会とつながっていることに気づかせたいと考え、学習計画を立てた。はじめに、自分の筆箱How muchを基本題材として扱うことで、いらぬものをたくさん購入していること、ただ欲しい(wants)だけで購入していることに気づかせたい。また、必要なもの(needs)が準備されていないことで困ったことがあることや、中学生の筆箱にしては、金額がかかり過ぎていること、頻繁に交換していることなどの課題を自ら見つけさせたい。その後、「商品選択のポイント」「家庭の収入や支出」「購入方法」「支払い方法」「消費者トラブル」「消費者を支える仕組み」「消費者の権利と責任」などの学習を行う。これらの学習の後、応用題材として、よりよい消費者を目指し、「私の一押し暖房器具はこれだ」を考えさせたい。学習した内容を使い、商品の読み取りを行い、商品を比較し、条件に適した商品を選択することで、よりよい商品を選択する目を養いたいと考える。そして、自分たちが考えた商品をプレゼンし、商品の情報を伝えたり、商品を選択することで商品選択時のポイントを意識させたい。また、各グループから出てきた情報を活用して、自分なりの考えを持って商品購入疑似体験をすることで、よりよい消費者になる為に自分の消費生活を工夫・改善することを考えさせたい。

3 題材の目標

自分や家族の消費生活に関心と持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解するとともに、必要な情報を収集・整理し、適切な選択・購入及び活用ができるようにする。

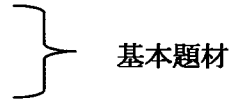
4 題材の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
家庭生活と消費について関心を持って学習活動に取り組み、消費生活をよりよくしようとしている。	家庭生活と消費について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	家庭生活と消費に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	家庭生活と消費について理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。

5 本時について

(1) 学習計画 (全9時間)

- ・生活に必要なものの流れ・・・・・・・・・・2時間
- ・商品の選択と購入・・・・・・・・・・2時間
- ・よりよい消費生活のために・・・・・・・・・・2時間
- ・私の一押し暖房機器はこれだ！～選択と購入～・・・・3/3時間 (本時) 応用題材



(2) 本時の目標

- ①商品を選択するときのポイントを意識しながら、各グループから出てきた情報を活用して、自分なりの考えを持って商品に投票 (購入) することができる。【技能】
- ②よりよい消費者を目指して、どのようなことを考えて商品を選択すればよいかまとめることができる。【工夫・創造】

(3) 本時の評価

A (十分満足できる状況と判断される生徒の具体的な例)	B (おおむね満足できる状況と判断される生徒の具体的な例)	支援を必要とする状況と判断される生徒への手立て
暖房器具を選択するための情報を収集・整理することができ、十分に活用して、条件に合った暖房器具をさまざまな選択ポイントをもとに自分の考えを持ち投票 (購入) できる。	暖房器具を選択するための情報を収集・整理することができ、自分の考えを持って投票 (購入) できる。	各グループのプレゼンに関するキーワードをもとに暖房器具を投票 (購入) させる。
自分や家族の生活の仕方や消費のあり方を既習の内容をもとに自分の考えを整理し工夫している。	自分や家族の生活の仕方や消費のあり方を改善するように工夫している。	ワークシートやキーワードを参考に自分や家族の生活の仕方や消費のあり方を考えさせる。

(4) 学習過程

学習活動	○主な発問や指示・予想される生徒の反応	・留意点 ●評価【観点】(方法) ※手立て
1, 本時の目標・学習内容を知る。	○よりよい消費者と聞いてどんなことを連想するだろう。今日は、そこを見つけよう。	・本時目標を板書し、今日の学習のねらい・学習の流れを押さえる。
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p><b>&lt;目標に迫る活動&gt;</b>  <b>私の一押し暖房器具暖房器具のプレゼンし通し、よりよい消費者として大切なことを考えよう</b></p> </div>		
2, グループごとに自分たちが考えた筆箱のプレゼンをする。	○商品選択の7つのポイントは何だっただろう。 ①必要性 ②品質 ③安全性 ④機能性 ⑤環境への配慮 ⑥保証・アフターサービス ⑦価格	・商品の説明がスムーズにできるよう役割分担させる。 ・商品選択の7つのポイントを意識しながら説明を聞くように促す。
3, 自分なりの考えを持って、商品を選択する。	○5つの商品の中でどの商品を購入 (投票) するか考えよう。そして、どのようなことを考えて購入 (投票) を決めたか投票用紙にまとめてみよう。 ・値段が適正。 ・家族に必要なものと思った。 ・安全だと思った。・機能がよい。 ・環境によいと思った。 ・カードを使ってでも、よいものを買った方がよいと思った。 ・保証・アフターサービスがよい。	●暖房器具を選択するための情報を収集・整理・活用し、自分足りの考えを持って、商品に投票 (購入) することができる。【創意・工夫】 (投票用紙) ※各グループのプレゼンに関するキーワードをもとに暖房器具を購入させる。 ・商品選択のポイントを考えてみるように促す。 ・履修した学習であるキーワードを提示し、意識させる。 ・投票=購入であることを押さえる。

<p>4, 5つの商品の中でどれか一つの商品を購入（投票）する。</p> <p>5, 投票箱を開き、投票された意見を聞く。</p> <p>6, 本時のまとめをする。</p>	<p>○自分なりの考えを書いた投票用紙を、よいと思う商品に投票してみよう。</p> <p>○みんながどんな意見で、商品を選択したか聞いてみよう。</p> <p>○よりよい消費者を目指すために、大切だと思ったこと、気づいたことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮して購入する。</li> <li>・批判的な意見をもって商品を見る。</li> <li>・価格だけでなく、保証やアフターサービスのことも考えることが大切。</li> <li>・社会の担い手になる責任がある。</li> <li>・安全性や機能性を考える。</li> <li>・購入方法・支払い方法も考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投票箱をみんなに見えるように提示する。</li> <li>・それぞれの商品に入っていた意見を選んで読みあげる。</li> <li>・商品を購入することは、選ぶ権利であると共に、消費者として責任を伴うことでもあることに気づかせる。</li> <li>●よりよい消費者を目指すために、自分や家族の生活の仕方や消費のあり方を、工夫・改善しようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【創意・工夫】</b></p> <p>(ワークシート・発表)</p> <p>※ワークシートやキーワードを参考に自分や家族の生活の仕方や消費のあり方を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の感想、変容を読み取り本時のまとめを行う。</li> </ul>
---	--	--